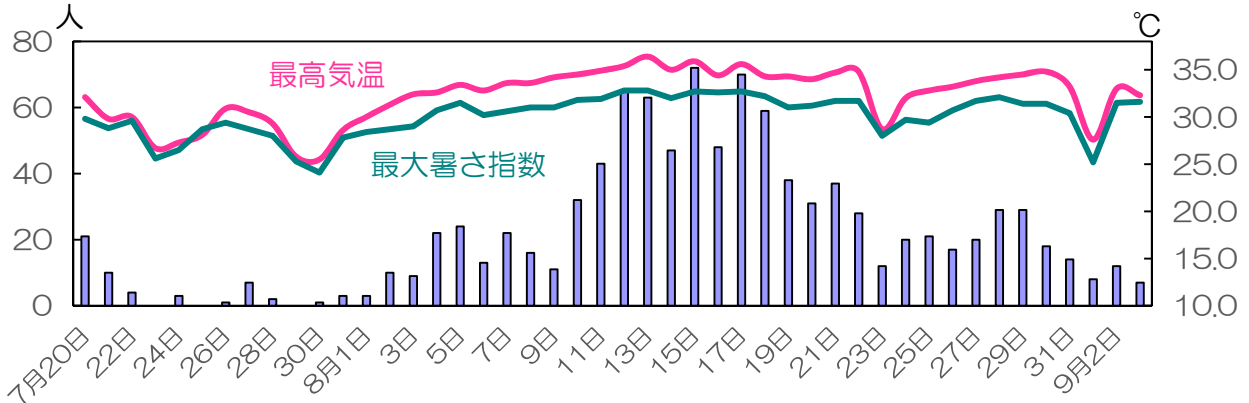


# 熱中症情報

## <搬送数>

令和2年5月1日～9月3日までの搬送数（消防局データを使用）は、計1,177人（5月24人、6月96人、7月87人、8月943人、9月27人）でした。8月10日以降は、連日の猛暑で、搬送数も60人/日以上（8月12～13日、15日（71人）、17日）と多かったですが、18日以降は、最高気温も下がり、搬送数も減少傾向です。

9月になっても、依然として、最高気温が30℃以上の日が続いています。しばらくは暑さが続くようですので、こまめに水分を取り、暑い日の外出はなるべく避け、適切に冷房を使用するなど、暑さから身を守りましょう。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために『新しい生活様式』を実践し、感染症予防とともに、熱中症予防（屋外で人と2m以上離れている時は、マスクを外すなど）にも心掛けましょう。



**暑さ指数とは？**人間の熱バランスに影響の大きい①温度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト [暑さ指数\(WBGT\)とは？](#)」をご覧ください。

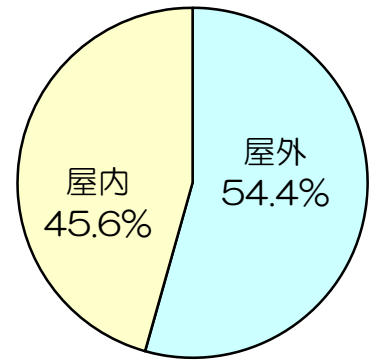
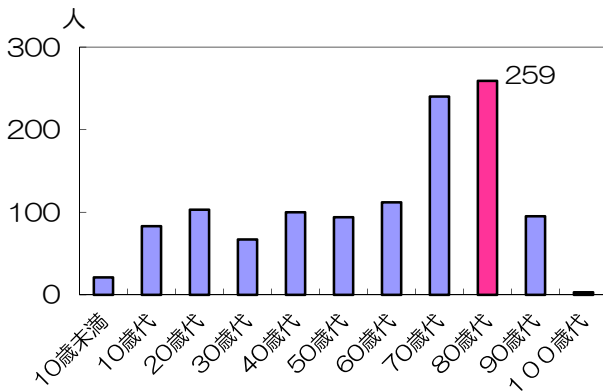
以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

## <年齢別>

年齢別では、80歳代が259人と、最も多く、22.0%でした。

## <発生場所>

屋外54.4%、屋内45.6%で、屋外での発生が多くなっています。



## <重症度>

軽症52.3%、中等症41.1%、重症5.2%、重篤1.4%でした。

高齢者（65歳以上）の重症の割合が高くなっており、高齢になると重症化の傾向が伺えます。

